

## 医仁会武田総合病院

## 地域医療連携室だより

救急告示病院 臨床研修指定病院

医療法人 医仁会 **武田総合病院** 発行

京都市伏見区石田森南町28-1

TEL 075-572-6331 (代表電話)

## 理念

- 思いやりの心

## 基本方針

- ブリッジ・ザ・ギャップス
- 患者さんの権利尊重
- 信頼の医療に向けて
- 地球にやさしい環境づくり

## 環境方針

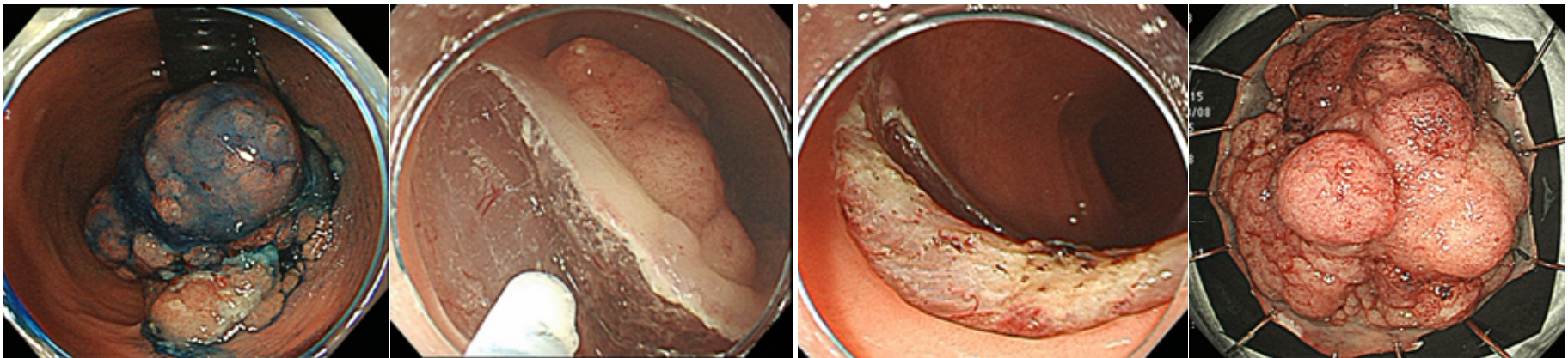
- ① 省資源・省エネルギー
- ② 廃棄物の減量化
- ③ リサイクルの推進
- ④ 安全性・快適性の推進
- ⑤ 環境広報活動の推進

## 今月の特集

## ～内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）のご紹介～

平素より沢山の患者さんを当院にご紹介いただき誠に有難うございます。  
 今月は当院**消化器センター**で行っている**内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）**  
 (以下「ESD」という) についてご紹介をさせていただきます。

ESDは、粘膜を含めて粘膜下層までを剥離し病変を一括切除するという方法で、従来の内視鏡的粘膜切除術（EMR）では切除することが難しかった消化管腫瘍に対する革新的な治療法として全国的に広まっています。当初は、胃の粘膜内癌に対する治療法として始まりましたが、現在では食道や大腸にも適応が広がっております。当院では、平成17年からこの治療法を導入しており、現在に至るまで沢山の患者さんに対して治療を行って参りました。この10余年における内視鏡処置具の進化や術者の技術向上により、非常に低侵襲で安全性が高い処置になってきており、現在では自身を持って患者さんにお勧めできる治療法であります。以前であれば外科手術の対象となっていたような患者さんを、開腹することなく、臓器を温存し、短期間の入院で完治させることが可能であり、多くの方々に喜んでいただいております。



直腸側方発育型腫瘍 LST-G nodular mixed type 病変径:44mm×42mm ESD時間:64分

## 内視鏡診断の重要性について

当院では、治療技術の向上だけでなく、治療前の正確な内視鏡診断も重要であると考えております。そのため、治療前には拡大内視鏡観察による範囲診断及び深達度診断（必要に応じて超音波内視鏡も併用）を行い、治療後には病理スライドを術者自身が確認して内視鏡所見との対比を行うようにしております。

この積み重ねが最も大切なことであり、引き続き先生方にもご協力いただきたい次第であります。つきましては、治療適応となる患者さんや消化管の精査を希望される患者さんがおられましたら、是非とも当院消化器センターまでご紹介

## 治療の適応となる疾患

食道・胃・大腸の腫瘍性病変（癌や腺腫など）が対象となります。

基本的には、リンパ節転移の可能性がほとんどなく、一括切除できる大きさの病変が適応となります。粘膜下層に微小な浸潤があっても、ガイドライン上追加外科手術を要さない病変もあります。外科手術を考慮していたものの、内視鏡検査によってESDの適応と判断し、手術を回避できた患者さんも多くいらっしゃいますので、判断に迷うような場合は、まず当科までご紹介いただければ幸いです。

<文責：消化器センター 医長 玉置 大>

## コンサルテーション窓口のご案内

超高齢多死社会の到来を控え、地域包括ケアシステムの構築が進められており、在宅・介護領域における看護を安定的に提供できる体制を整備することが重要です。

武田総合病院看護部では、認定看護師（12分野14名の専門資格を持つ看護師を活用していただくことで、地域全体の看護職のネットワーク強化や看護の質向上に寄与できればと考え、コンサルテーション窓口を開設しております。地域の看護師が現場で抱えているケアの悩みなど、お気軽に、何でもご相談ください。



### 【連絡先】 地域医療連携室

フリーダイヤル:0120(72)6530

TEL : 075(572)6530

FAX : 075(572)6276

(Email) : renkei-i@takeda.or.jp

(URL) <http://www.takedahp.or.jp/ijinkai/>

担当： 櫻本 達也 辻野 博幸

### ～地域医療連携室より一言～

平素よりお世話になっております。

今号では、消化器内科の内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）及び看護部のコンサルテーション窓口についてご案内をさせて頂きました。

今後も、先生方との連携がよりスムーズに行えるよう、調整に努力させていただきます。